

兵庫県立丹波医療センター 地域医療連携センターだより



2023年8月
Vol.17

〒669-3495
兵庫県丹波市氷上町石生 2002 番地 7
TEL:0795-88-5200(代表)



脳神経外科・救急担当部長 岡村 有祐
OKAMURA Yusuke

こんにちは。

本年より、脳外科部長と兼任という形で救急担当部長を拝命致しました岡村有祐です。

人はいつ、どこで、どんな病気になるか、どんな怪我をするかわかりません。そこで、“いつでも”、“どんな病気や怪我でも”、“どこでも”、救急医療が受けられる仕組みは非常に大切ですが、残念ながら現代の日本において、その均霑化には問題があり、この丹波・篠山地方も以前より救急医療過疎地域と言われていています。

まず、“いつでも”救急医療を受けられるようにするためには、24時間の救急医療体制を作らなければなりません。しかし、夜間でも常に医療を受けられる体制を維持するには、医師や看護師、検査技師などといった医療スタッフを、常に一定数確保する必要があります。現状ではスタッフの数が十分では無い状況の中、交代で勤務にあたることで休日や夜間でも救急医療を提供できる体制を築いていますが、各人の努力に依存する側面が大きいのも事実です。

次に、“どんな病気や怪我でも”対応できれば良いのですが、各病院ごとの機能に限界があります。救急医療には3つの段階があり、それぞれ初期救急医療機関、二次救急医療機関、三次救急医療機関と呼ばれます。当院は二次救急医療機関であり、さらには丹波・篠山地域で常時救急救命を取り扱う「準三次医療機関」の役割も担っております。その役割を果たすべく、病院スタッフ一丸となって診療に取り組んでおりますが、ただ残念な事に今年度より専属の救急医は不在となり、平日日中は救急管理者1名と救急科ローテート研修医複数名で各科専門医の協力のもと、救急診療を行っています。さらに休日夜間は各当番医による診療体制で継続せざるおえない状況となっております。救急診療としては、現場スタッフの負担が大きい為、診療に関して待ち時間等も含め何かとご不便をおかけすることもあるかも知れませんが、見方を変えますと悪いところばかりではありません。一般的に救急医が担う範囲は、患者さんの初期治療を行い、各診療科に振り分けるところまでであり、救急医が主治医となって患者の受け入れから診断・根本治療まで一貫した治療を行う病院はごく僅かです。当院では救急専属医がいない分、現場の負担は大きいですが、救急を担当して頂いた医師が各診療科の医師とともに、診断・治療さらには外来診療まで関わることもできる良さもあります。

最後に、“どこでも”必要十分な救急医療を受けられるようにするためには、初期救急医療機関・二次救急医療機関という分担を活用しつつ、重篤な患者を素早く確実に三次救急医療機関に搬送する必要があります。そこで、ヘリコプターが搬送手段として活用されていますが、当院には屋上にヘリポートが設置され、ヘリコプターによる患者受入、搬送にも対応しやすく、また高次機能病院との連携も可能です。

救急診療に携わる医師含め医療スタッフの数はまだ十分とは言えませんが、今後も開業医の先生方や各消防本部の方々の協力もいただきながら、丹波地域の基幹病院として皆さまに安心して受診していただける救急診療の維持に努めさせていただきます。



ミルネ診療所所長 榎木です！



ミルネ診療所 所長 榎木 孝次

KASHIKI Koji

今年度より新しくミルネ診療所所長を拝命致しました。新規就任にあたり、皆様へ改めてご挨拶申し上げます。

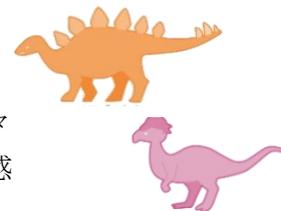
ご存知の方も多いとは思いますが、ミルネ診療所は健診センター、訪問看護ステーション、保健・福祉センター等が併設された丹波市健康センターミルネ内部にあり、県や市の組織とともに一丸となって丹波の地域医療へ貢献できるよう取り組んでいます。

ミルネ診療所は「受診しやすさ」を特徴とし、外来受診によるかかりつけ医療機能に重点を置いています。「かかりつけではないので診ません」ではなく、「まずは診てみよう」の精神で、様々な分野の健康上の悩みに対応できるよう日々外来診療を行っています。もちろん、専門医療が必要な場合には適切な紹介を心がけ、病病-病診連携も進めております。困りごとがあればいつでもご相談ください。また、訪問診療の件数も年々増加傾向であり、その背景には、在宅患者の救急対応や入院のバックアップとして丹波医療センターの存在が大きく、患者・家族様の安心に繋がっており、この場を借りて改めて感謝を申し上げます。今後も連携を強固なものとしながら、住民の皆様がより安心して地域で生活を送れるような医療体制を築いていきたいと考えております。

最後に、私事ではありますが、現在2歳と0歳の息子たちの子育て中の身でもあります。恐竜が好きな長男は魅力いっぱいの丹波の地でのびのびと成長しています。



次男は先日肺炎で丹波医療センターに入院し御世話になりました。小児科医の先生方をはじめ、病棟スタッフの皆様、たくさんの方々のおかげで無事に元気な姿で退院することができました。心から感謝を申し上げます。



若輩者ではございますが、これからさらに丹波の魅力を発見しながら、地域医療へ貢献しようと思っております。ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、今後とも何卒宜しく願い申し上げます。



熱中症 について

内科医師・地域医療教育センター 林 友鴻
HAYASHI Tomohiro

令和5年5月1日付けで神戸大学大学院医学研究科 地域医療支援学部門の特命助教を拝命致しました。現在、兵庫県立丹波医療センター内科医師として勤務するとともに公立豊岡病院へも週1回出向しております。これまでは神戸大学医学部附属病院などの都市部の病院において、診療および研究に長年従事しておりました。これまでの経験を活かして、丹波但馬地域の診療ならびに研究の発展に微力ながらに貢献していきたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、梅雨が明けると、夏本番になります。そこで今回は、熱中症の対応と予防についてお知らせします。人混みでのマスクの着用など新型コロナウイルス対策が続いておりますが、気温や体調管理に十分に注意して過ごしましょう。

熱中症の症状と手当

熱中症とは、高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ脱水状態になり、体温調節がうまく働かないため身体に様々な異常を起こす状態です。

熱中症を疑う症状はありますか？

めまい・立ちくらみ・生あくび・大量の発汗・高体温
頭痛・嘔吐・倦怠感・虚脱感・集中力や判断力の低下

Yes



手当

- ・衣服をゆるめ、涼しい場所で寝かせましょう。
- ・冷たいタオルなどで首やわきの下、足のつけねを冷やしましょう。
- ・水分・塩分を補給しましょう。

* 改善しないときや自分で上手に水分補給ができない場合は、医療機関を受診しましょう。

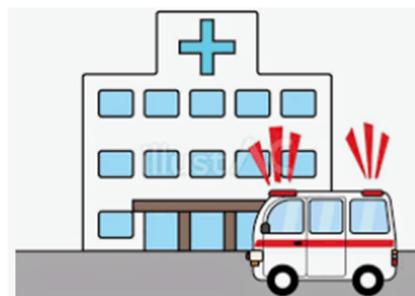
重症

けいれんを起こす
意識がなくなる

Yes



* 救急車を呼びましょう。



熱中症の予防

熱中症は暑い屋外で多いイメージがありますが、実は室内でも発症する危険性が高く注意が必要です。外気温の上昇に伴って室内の温度も上がりますが、室内では暑さに気付きにくいことが多く、気付いたときにはすでに熱中症の症状が出ているということも少なくありません。屋内では、熱中症の発症を防ぐ室内環境を整えることが大切です。室内・屋外にかかわらず、のどの渇きを感じなくても、こまめに水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給しましょう。

(室内では) 扇風機やエアコンで温度を調節。遮光カーテン・すだれ・打ち水を利用。

(屋外では) 日傘や帽子の着用。日陰の利用、こまめな休憩。通気性のよい衣服を着用。

丹波圏域新興感染症対応実施訓練に参加して

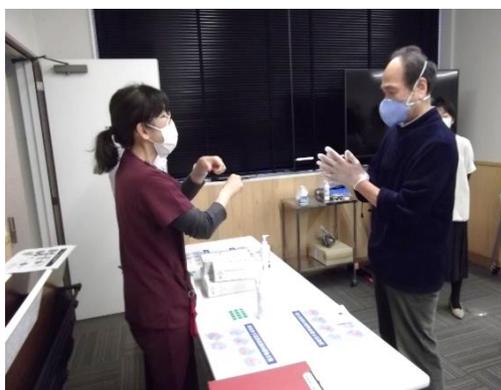


令和5年3月16日、当院での丹波圏域新興感染症対応実施訓練に参加しました。この訓練は診療報酬の算定要件でもあり、新興感染症対応を踏まえて昨年度から始まりました。参加者は当院スタッフをはじめ他病院の医療従事者、丹波市・丹波篠山市の医師会と消防、クリニック医師・看護師、健康福祉事務所の方々でした。

訓練は新型インフルエンザが海外発生期の段階で、帰国者が発熱したという想定で行われました。私は患者役として参加し、患者が健康福祉事務所へ連絡後に専用外来を受診し入院するまでの流れを各役割分担にわかれ訓練しました。その中では消防の方によるタイベック着脱、看護師によるPPE着脱の説明がありました。



訓練後は参加病院と意見交換を実施し、新型コロナ対応について難渋した点について共有しました。その後、参加者はHALO着脱・フィットテスター・検体採取・PPE着脱をスタンプラリー形式で体験しました。私はクリニック医師のPPE着脱を確認させていただきました。普段PPEの着脱を経験することが少ない医師もおられ、着脱手順を1つ1つ確認しながら実施しました。新型コロナ感染症が5類に移行した後は、PPEの着脱が必要となる場面も増えることから、実際に手順を確認することの大切さを感じました。今回の訓練を通して、新興感染症では想定外のことが起こる可能性もあり、訓練に参加し顔の見える関係を作り、皆が協力して対応することが重要であると感じました。 (文責：薬剤部 青井直樹)





－緩和ケア研修会を開催しました－

丹波圏域・がん診療に携わる医療者のための緩和ケア研修会を6月10日（土）に開催しました。県立柏原病院にて2009年8月に第1回を開催して以来、通算17回目の開催となりました。

コロナ禍においては「密を避ける」ために参加者を少人数（毎回12名の募集）として年2回の開催を行ってきました。またコロナ感染蔓延防止のため、院内のみの参加者募集となっていました。今回（第17回）からは院外にも広く参加募集を行いました。その結果、神戸市、三田市の医療機関から各1名の参加者を含めて計11名が受講し、無事修了しています。

この研修会ががん対策推進基本計画に基づいた開催指針（厚労省健康局長通知）に沿って開催され、医師以外の職種の参加も勧奨されています。今回は医師4名、看護師7名の参加となりました。臨床現場に即したロールプレイや模擬事例の検討を行い、緩和ケアにおける多職種協働体験となりました。知識の習得に関しては、研修会に先立ってe-learningを受講し、その知識を集合研修（ロールプレイや事例検討）で生かすという研修構造になっています。基本的な緩和ケアの習得を目標としたプログラムであり、ベテランの医療者にとっては物足りない内容とも言えますが、講師・ファシリテーターとともにプロダクトを創りあげていくワークショップ形式の研修会は、ベテランの医療者にとっても様々な学びがあり、また、医療圏あるいは県内の緩和ケアネットワークの構築に役立ってきたという実感ももっています。これまで開催してきた16回においては（医師、看護師以外の職種として）薬剤師、公認心理師、管理栄養士、リハビリの先生方、医療ソーシャルワーカーの参加があり、それぞれの立場から、時には立場を超えて活発な議論が行われてきました。

次回（第18回）は2024年2月23日（天皇誕生日）に開催を予定しています。地域医療を担う多職種の皆様の参加を心よりお待ちしております。

お問い合わせ・参加お申し込みは地域医療連携センターまで



地域医療を担う近隣の医療機関を紹介させていただくコーナーです。医療機関の特徴を知り、地域住民の皆様に良質かつ効率的で切れ目のない医療が提供できる連携を目指します！
今号は、けやきクリニック 上山 知己 先生をご紹介します☆

けやきクリニック 上山 知己 先生(丹波市柏原町)

6月12日にけやきクリニックの上山知己先生を訪ね、お話を伺ってきました。前は前任の大野副院長が開院間もない7年前に訪問しています。その時から心リハを始められていましたが、地域柄か希望者も少なく、まだまだ余裕があるそうです。丹波医療センターに合併してからは、脳神経外科や脳神経内科ができて他地域に紹介せず済むようになり、救急も断られることが減って有り難いが、現場の若い医師が疲弊していないか心配だとのことでした。また、ミルネで診察できる範囲を明示して欲しいとか、当院に紹介した患者が他院に転院した時や不幸にしてお亡くなりになった時に速やかに情報提供を頂きたいとの貴重なご意見も頂きました。病診連携を大切に思う誠実なお人柄が垣間見え、今後も地域医療を支える仲間として共に協力し合える関係を築いて行きたいと願いつつ、私の最初の対談記事と致します。（芝記）



外来診療担当表 (令和5年8月)

診療科 \ 曜日		月	火	水	木	金	備考
内科	一般、初診	藤井 康和 (消化器・肝臓・腎臓) 林 友鴻	担当医	見坂 恒明	森 寛行	見坂 恒明	◎ 二次精密検査は、一次健康診断結果票をご持参ください。
	専門	河崎 悟 (循環器)	新倉 悠人 (循環器)	松本 賢亮 (循環器) 隔週 佐藤 悠 (消化器)	岩根 成豪 (循環器)	松本 賢亮 (循環器)	◎ 水曜 松本医師は隔週
		西崎 朗 (消化器)	星島 正彦 (循環器・腎不全)	津田 一範 (消化器)	西崎 朗 (消化器)	野村 雄大 (消化器)	
	予約再診	森 寛行		藤井 康和	藤井 康和	第1・3・5 田中 健雄	◎ 次回の再診予約のあった患者さんのみ
	こころと記憶の診療科	射場 亜希子					◎ 他医療機関等からの紹介予約のみ
	呼吸器	奥野 恵子	小林 和幸 奥野 恵子(腫瘍) 第1・2・3・4 午後			奥野 恵子	◎ 午後(再診のみ)
	ペースメーカー		河崎 悟				
	糖尿病		井上 朋也		鈴木 正暉 第4 14時～ 大橋 紳一郎		
	緩和ケア		板倉 崇泰			田中 祐子	◎ 緩和ケア：院内がん相談支援センターで予約された患者さんのみ
	がん治療支援	板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	板倉 崇泰	田中 祐子	
	脳神経内科	辻 麻人	大塚 喜久	大塚 喜久		大塚 喜久	
	腫瘍・血液内科		薬師神 公和		水谷 優	水谷 優	
	膠原病				第2・4・5 河野 誠司	上田 洋 (第1・3・5) 山本 英里子 (第2・4)	
	リウマチ内科						
肝臓				上田 佳秀			
禁煙・睡眠無呼吸				星島 正彦			
小児科	1 診	井上 真太郎	永井 貞之	井上 真太郎	永井 貞之	酒井 國安	
	2 診	金谷 昂保	皇甫 奈音	松岡 輝	金谷 昂保	皇甫 奈音	
	3 診	松岡 輝	小林 崇人	第2・4 小林 崇人		井上 真太郎	
	専門外来 (予約)	第2・4 内分泌 坊 亮輔 第1・3・5 神経	井上 真太郎 (夜尿症・循環器)		松岡 輝	永井 貞之	
		山口 宏 皇甫 奈音	酒井 國安 (アレルギー疾患)		永井 貞之	金谷 昂保	
外科	一般・消化器	寺井 祥雄	担当医	藤田 恒憲	上田 泰弘	大野 伯和	
		伊藤 良太		濱中 統親			
	第1・3 肝臓 木戸 正浩		第2・4 肝臓 木戸 正浩				
乳腺外科	岸 淳彦		岸 淳彦		岸 淳彦		
整形外科		上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	芝 昌彦	◎ 金曜 芝医師は初診のみ
		山本 顕	今井 貞之		山本 顕	今井 貞之	
リハビリテーション科		上本 晴信	芝 昌彦	上本 晴信	芝 昌彦	芝 昌彦	◎ リハビリ訓練(要予約)は毎日実施
脳神経外科	甲田 将章 (第3・4) 藤本 陽介 (第1・2)	岡村 有祐	担当医 (予約のみ)	岡村 有祐	井村 隼		◎ 水曜 予約診察のみ(救急対応要相談)
皮膚科		千原 拓也	村田 洋三	藤原 進	村田 洋三		◎ 受付時間 火曜 11:00まで
泌尿器科		岡本 雅之	山崎 隆文	岡本 雅之	山崎 隆文	兵頭 洋二	◎ 受付時間 月～木曜 11:00まで 金曜 10:30まで
産婦人科	1 診	丸尾 原義	望月 慎介	武田 晃子	望月 慎介	鈴木 美奈子	
	2 診	出口 雅士	三原 綺乃	担当医	宮下 幸一	中島 由貴	
周産期		担当医		担当医			◎ 午後のみ・予約診察のみ
眼科	9時30分～	棚瀬 真希子	金光 聖隆	第1・2・4・5 金光 聖隆 第3 菅澤 淳	金光 聖隆	金光 聖隆	◎ 診療開始時刻 棚瀬医師・林医師 9:30～ ◎ 林医師は予約診察のみ
			林 一	林 一		午後 林 一	
耳鼻咽喉科	午後 四宮 弘隆 (第3・4) 上田 隆 (第1・2) 柿木 章伸 (予約のみ)	由井 光子	午後 蓼原 瞬	柿木 章伸	手島 直則 (第1・3・5) 古川 竜也 (第2・4)		◎ 受付時間 月～水、金曜 11:00まで 木曜 10:30まで ◎ 月・水曜 午後のみ
放射線科	一般	楠 直明	楠 直明	楠 直明	楠 直明	楠 直明	◎ 予約診察のみ
	リニアック		別所 良祐			梶原 彰文	
歯科口腔外科		竹内 純一郎	竹内 純一郎	竹内 純一郎	竹内 純一郎	竹内 純一郎	◎ 予約診察のみ
		寺岡 駿	寺岡 駿	寺岡 駿	寺岡 駿	寺岡 駿	